



バス事故7人死亡

岡 関越道で側壁衝突 藤 TDL行き 39人重軽傷



高速道の側壁を壊し、車体の半分が外にはみ出したバス＝藤岡市岡之郷の関越道上り線、29日午前7時

29日午前4時40分ごろ、藤岡市岡之郷の関越道上り線藤岡ジャンクション（JCT）付近で、大型バスが道路左側の壁に衝突、大破した。高崎に衝突、大破した。高崎市等広域消防局によると、乗客45人のうち7人が死亡、運転手と他の乗客39人が重軽傷を負った。

事故の影響で、午前5時から関越道上り線高崎インターチェンジ（IC）―本庄児玉IC間、北関越道西行き前橋南IC―高崎JCT間が通行止めとなっている。県警高速隊が事故原因を調べている。

同消防局などによると、バスは千葉県のバス会社「針生エクスプレス」が運行。金沢市を出発し、千葉県の東京デイズニールランドに向かう途中だった。バスの予約リストには、石川県のほか、富山県や東京都の乗客の名前があった。県警が確認を急いでいる。

会社によると、事故直後に運転手から携帯電話で「事故を起こした。壁にぶつかった。自分も挟まっている」と連絡があったという。同社社長は取材に「大変な事故を起こしてしまった。大変申し訳ない。頭を下げてでも下げきれない」と謝罪した。

現場は同JCTの高架のすぐ近く。近くに住むパート女性（34）は「朝方に『ドーン』という音と地響きを感じた。最初は地震かと思った」と話した。